

「第1回 VERSANT 英語スピーキング・チャレンジ」中間速報第2弾

受験者のTOEICスコア平均は800点！
しかしTOEIC900点台でも
VERSANTスコアにはバラつきあり！
「英語発信力」を測定できるのはVERSANT



2018年10月12日
株式会社 日本経済新聞社

日本経済新聞社は12日、全国一斉英語テスト「第1回 VERSANT英語スピーキング・チャレンジ」の10月8日までの中間報告（2回目・速報値）をまとめました。受験者の平均スコアは46点と高いスコアを維持しています。受験者のTOEIC申告スコアは平均で800点と、英語レベルの高い方々に数多く受験して頂いております。

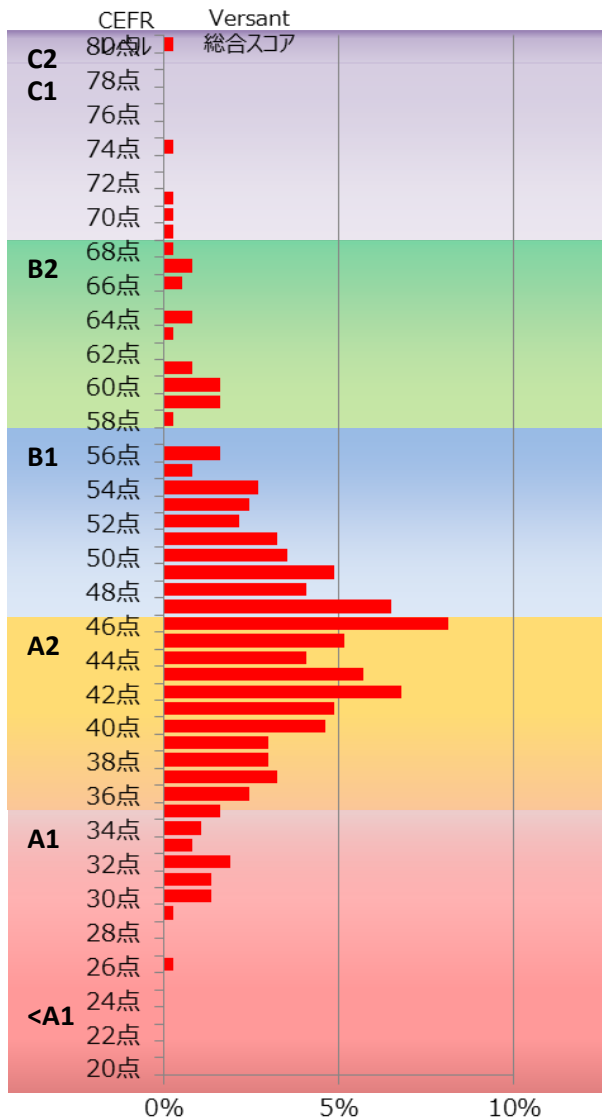
TOEIC900点台の方のVERSANT平均スコアは51点ですが、4割以上がビジネスで必要最低限とされる47点以下という結果も出ており、TOEICのスコアが高くて「英語発信力」は低いという課題が浮かび上がってきます。

現状幅広い業種の方々が受験されていますが、金融、製造業、IT（情報・通信・エレクトロニクス）の3業種が多く、全体の6割以上を占めています。特に金融系のレベルが高く、平均スコアは46点台と安定して高くなっています。

中間結果のポイント

- ・受験者の**VERSANTスコア平均は45.6点**
⇒日本人平均（38点）を7点も上回る高水準を維持
- ・受験者の**TOEIC申告スコア**の平均は**800点**に
⇒TOEIC900点台のVERSANTスコア平均は51点
⇒TOEIC900点台の4割がVERSANTスコア47点以下
- ・**金融、製造業、IT**の3業種が全体の6割以上
⇒金融系の平均スコアは46点台と高め

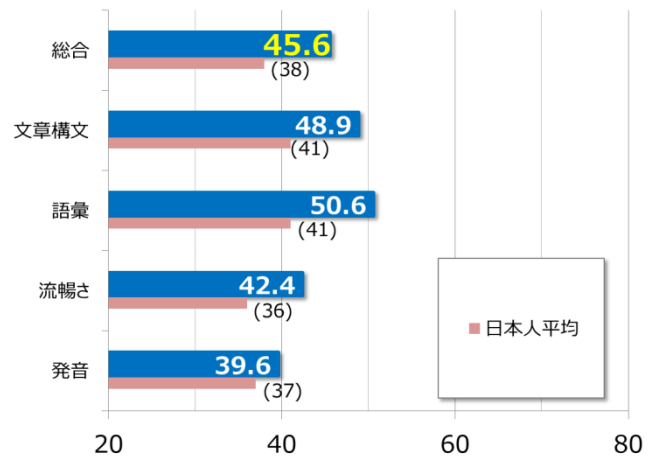
VERSANT総合スコア



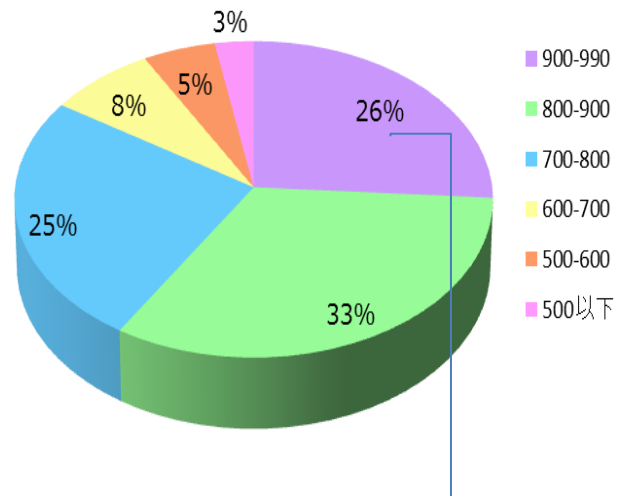
- ・海外赴任の目安である47点以上は4割程度
- ・82%が日本人平均（38点）を超えている
- ・業種別では金融系が46.1点と高い

項目別スコア

(文章構文・語彙・流暢さ・発音) 日本人平均との比較



TOEIC申告スコア



- ・TOEIC900点台のスコア平均は51点
- 「語彙」は58点と圧倒的に高い
- 「流暢さ」は47点と「語彙」より10点以上低い

「第1回 VERSANT 英語スピーキング・チャレンジ」締め切り迫る！

受験期限を11月11日（日）まで延長！まだチャレンジしていない方はお急ぎください。

申込期限も10月31日（水）まで延長しました。

<https://www.versant.jp/campaign/201807/>